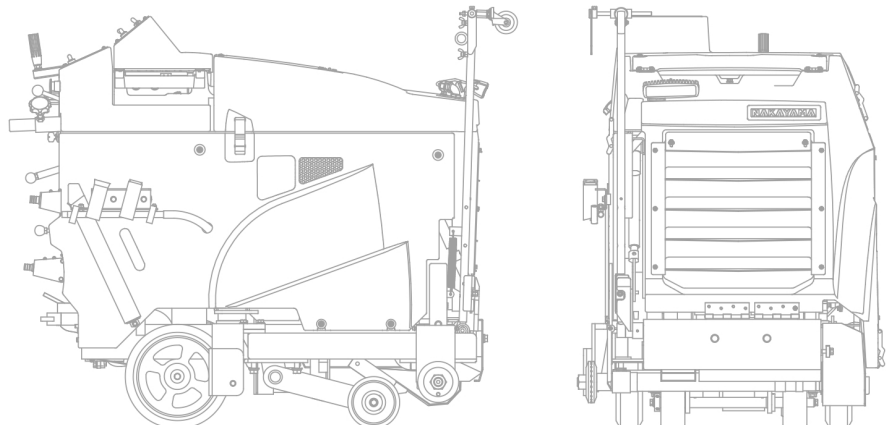




AZZ356 / AZZ406 / AZZ II 506

## 取扱説明書



**NAKAYAMA**



## ■はじめに■

この度は、NAKAYAMAの製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

- ご使用する前に、この取扱説明書を**必ずお読みになり内容をご理解のうえ安全にご使用下さい。**
- お読みになった後は、紛失等されないよう大切に保管して下さい。
- 取扱説明書、パーツリスト、トラブルシューティングなど、資料を弊社ホームページでも公開しています。是非ご利用下さい。

<http://www.nakayama-azz.co.jp>



※ 取扱説明書に記載されているイラストが、設計変更により実機と異なる場合があります。

## ■付属品一覧■

新車購入の時は、下記部品が付属します。

### ● 工具箱

- |                |                |
|----------------|----------------|
| • ドライバー        | • ロープ 3.5 m    |
| • オイルフィルターレンチ  | (ガイド手動時は付属無し)  |
| • プラグレンチ       |                |
| • テンショナーロッド    | • パーツ表         |
| • 片口スパナ φ41    | • 取扱説明書        |
| • メガネレンチ 22×24 | • クボタエンジン取扱説明書 |
| • メガネレンチ 17×19 | • 予備ヒューズ 10 A  |
| • メガネレンチ 10×13 | • 予備ヒューズ 30 A  |
| • 六角棒レンチ 2 mm  | • 予備ヒューズ 45 A  |
| • 六角棒レンチ 4 mm  | • 予備ヒューズ 65 A  |
| • 六角棒レンチ 5 mm  | • 超低騒音シール      |
| • 六角棒レンチ 6 mm  |                |

\* ご使用の前に、工具箱の中に付属品が全て揃っているかを確認して下さい。

# 目次

- はじめに
- 付属品一覧

<b>1. 嚴重注意事項</b>	<b>1</b>
・ 周囲への安全確保	1
・ 引火・爆発の危険性	1
・ 狭小地での操作	1
・ チェンジレバー操作・推進力切り替え機構	2
・ 排気ガス（一酸化炭素）中毒及び酸欠事故	2
・ 機体の積み込み・積み下ろし作業	2
・ 機体の吊り上げ	2
・ 保管及び稼働	3
・ 機体の改造	3
・ 機体の使用	3
・ 回転部の危険性	3
<b>2. 保証規定</b>	<b>4</b>
<b>3. 各部名称</b>	<b>5</b>
・ メーターパネル	5
・ 機体	5
<b>4. 警告灯</b>	<b>6</b>
・ チャージランプ	6
・ オイルランプ	6
・ MILランプ	6
<b>5. 機体操作</b>	<b>7</b>
・ ブレーキ	7
・ エンジンの始動と停止	7
・ エンジン非常停止	7
・ 前後進	8
・ 走行ON・OFF機構 <オプション>	8
・ シフトチェンジ	8
・ 昇降操作	8
・ 横振り機構 <AZZ II 506 専用オプション>	9
・ 推進力切り替え機構（切断リリーフバルブ）	9
・ バキューム装置	9
・ デフロック機構 <オプション>	10



<b>6. N-MOS (エヌ-モス) &lt;オプション&gt;</b>	<b>11</b>
・ 名称	11
・ 基本操作	11
・ 表示内容	14
<b>7. 作業前点検・整備</b>	<b>16</b>
・ 各部ベルト	16
・ パーキングブレーキ	16
・ 冷却水	16
・ エンジンオイル	16
・ フューエル	16
・ フューエルタンク水抜き	17
・ 給油	19
<b>8. 積み込み・積み下ろし・運搬</b>	<b>21</b>
・ トラックへの積み込み	21
・ 運搬	21
・ トラックから積み下ろし	21
<b>9. 切断作業</b>	<b>22</b>
・ ブレードの取り付け	22
・ ブレードカバーを装着する	22
・ 切断ラインに合わせる	22
・ ブレード冷却水の供給と切断汚泥の吸引	22
・ 切断	23
・ 切断後	23
<b>10. 作業後点検・整備・清掃</b>	<b>24</b>
・ バキュームタンク, チューブホース	24
・ ブロアー	24
・ ブレードカバー	24
・ ブレードシャフトねじ部	24
<b>11. 定期点検</b>	<b>25</b>
<b>12. ベルト交換</b>	<b>29</b>
・ エンジン～ブレードシャフト	29
・ カウンターシャフト～HST	29
・ エンジン～カウンターシャフト	29
・ エンジン～ラジエターファン	30
・ ブロアーベルト	31
・ 減速機～カウンターシャフト	31

1 3.	長期間使用しない場合	32
1 4.	長期間放置してしまった時	32
1 5.	トラブルシューティング	33

配線図	・ AZZ 6シリーズ	35
	・ N-MOS (エヌ-モス)	36
切断周速表	・ AZZ356	37
	・ AZZ406	38
	・ AZZ II 506	39
仕様書	・ AZZ356	41
	・ AZZ406	42
	・ AZZ II 506	43



# 1. 嚴重注意事項

- 機体に貼り付けてある△表示のラベルは、警告表示です。必ずお守り下さい。



- ・指示を守らないと、死亡又は重大な事故になる可能性が高い為、**禁止事項。**

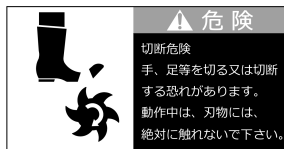


- ・指示を守らないと、死亡又は重大な事故になる可能性がある為、**守るべき事項。**



- ・指示を守らないと、重大な事故になる可能性がある為、**注意事項。**

- 周囲への安全確保



「一般安全警告記号」

- \* 「一般安全警告記号」がブレードカバーに示されている事を確認して下さい。

- 引火・爆発の危険性



- \* 給油作業は、換気の良い場所で車体を水平にしエンジンを停止してから行い、規定給油量以下での給油をお願いします。給油後はキャップを確実に締めて下さい。
- \* 燃料の取り扱いに注意して下さい。給油中は、タバコの火や静電気などで引火又は爆発する恐れがあります。
- \* 給油中にこぼれた燃料は、そのままにしないで下さい。こぼれた燃料はきれいに拭き取り、拭いた布は火災に注意して処分して下さい。

- 狭小地での操作



- \* 壁際や狭小地で機体の操作や作業をすると、無意識に衣類や体が油圧昇降レバーに触れてしまう事があります。機体の前側が上がり挟まれる恐れがあります。壁際や狭小地では、機体の後ろに立たない等十分注意して下さい。（項目3. 各部名称 ㉑）

## ● チェンジレバー操作・推進力切り替え機構



\* チェンジレバーの操作は、ブレーキを掛け平坦な場所で行って下さい。勾配のある場所でチェンジレバーを操作すると、逸走する可能性があります。（項目3. 各部名称 ⑳, ㉑）

\* 推進力切り替えレバーが、HIでもLOでも必ずブレーキを掛けて下さい。（項目3. 各部名称㉑, ㉒）

## ● 排気ガス（一酸化炭素）中毒及び酸欠事故



\* トンネル内や室内など、閉鎖空間でエンジン式コンクリートカッターを使用すると一酸化炭素中毒や最悪、死亡する恐れがあります。

（暖機運転でも危険性は変わりません）

## ● 機体の積み込み・積み下ろし作業

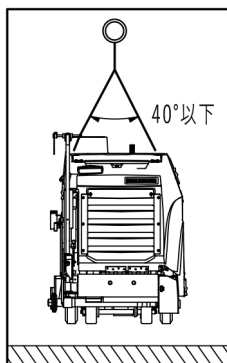


\* 機体の積み込み・積み下ろし作業は、ブレードカバー及びブレードを必ず外し平坦地で行って下さい。

\* 機体の後ろ（操作盤側）に立って作業しないで下さい。ゲートの上に機体がある時は、横から作業するようにして下さい。

\* トラックのパワーゲートを昇降させる時は、必ず機体のエンジンを停止、ブレーキを掛け、チェンジレバーを切断レンジの状態で行って下さい。（項目3. 各部名称 ⑳, ㉑）

## ● 機体の吊り上げ



\* 点検・整備で機体を吊り上げる際、ワイヤーロープの角度を40°以下にするようお願いいたします。不安定な吊り方や無理な吊り方をすると、機体の破損・重大な事故に繋がる可能性があります。

\* 弊社指定のワイヤーロープもございます。

● 保管及び稼働



\* 保管及び稼働は、第三者が接近しない場所を選んで行って下さい。

● 機体の改造



\* 弊社に無断で改造をしないで下さい。それによる事故やトラブルに関して、弊社は一切責任を負いません。

● 機体の使用



\* 体調が優れない時や、飲酒されている時は機体の使用をしないで下さい。

● 回転部の危険性



\* 回転中のプーリーやベルト、シャフト等には、絶対に手を触れないで下さい。

\* 切り替えペダルを左に倒した状態で、自走を行うと手動ハンドルが回ります。走行速度によっては体に当たった場合、重大な怪我をします。

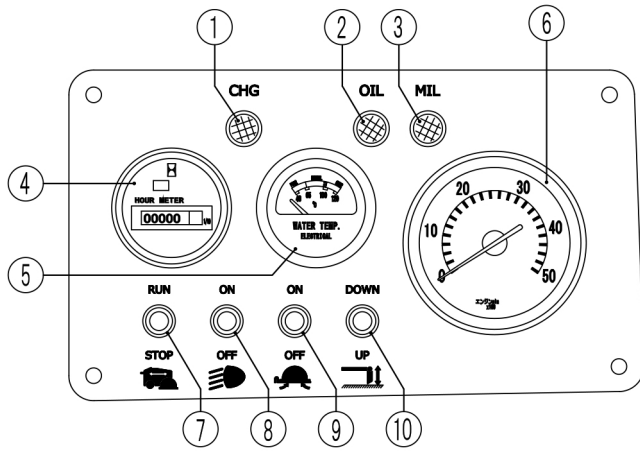
(項目 3. 各部名称 ⑳, ㉘)

## 2. 保証規定

- 保証期間として、製品お渡し日より6ヶ月間とします。
- 弊社コンクリートカッター最初のご購入者に対し、品質上又は製造上の欠陥と確認できた場合、部品の交換及び修理を弊社負担とします。転売購入された製品は、保証対象外です。製品のボディカバー等、機能上問題の無い箇所についても同様とします。
- エンジン及び他社が製造する部品等の不具合が生じた場合、当該各製造メーカーの保証規定に従い、その範囲内においてのみ保証致します。
- 保証期間内であっても下記内容に該当する場合は、保証致しません。
  - \* ベアリング，ベルト，パッキン等の消耗品
  - \* 弊社の了解なく改造等が加えられ、それにより生じた不具合
  - \* 天災，過失等により生じた不具合

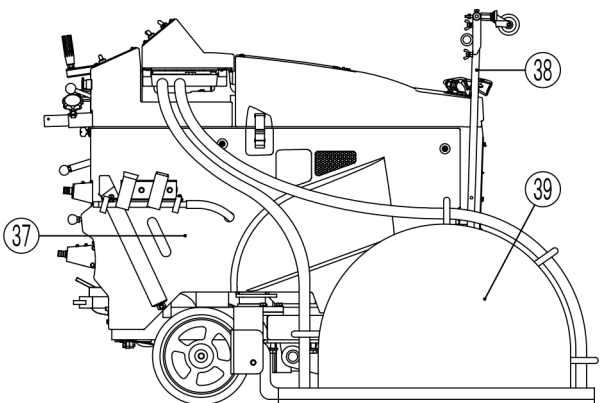
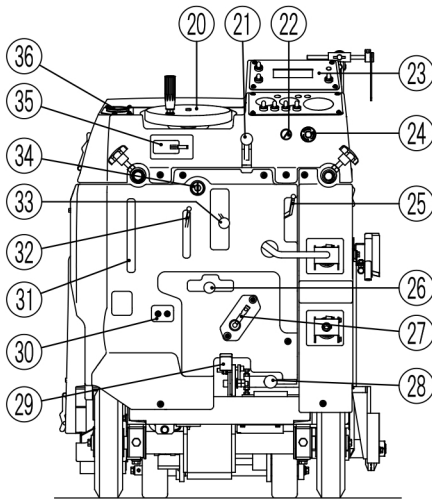
### 3. 各部名称

#### ● メーターパネル



- ① チャージランプ
- ② オイルランプ
- ③ MILランプ
- ④ アワーメータ
- ⑤ 水温計
- ⑥ タコメータ
- ⑦ 走行ON-OFFスイッチ <オプション>
- ⑧ ライトスイッチ
- ⑨ バキュームスイッチ
- ⑩ ゲージスイッチ

#### ● 機体



- ⑩ 手動走行ハンドル
- ⑪ 油圧昇降レバー
- ⑫ スロットルボリューム
- ⑬ N-MOS <オプション>
- ⑭ エンジン非常停止スイッチ
- ⑮ 前車輪/横振り機構切り替えレバー  
<AZZ II 506 オプション>
- ⑯ チェンジレバー
- ⑰ デフロックレバー <オプション>
- ⑱ 切り替えペダル
- ⑲ パーキングブレーキ
- ⑳ グルスアップ集中配管 <オプション>
- ㉑ フューエルレベルゲージ
- ㉒ 推進力切り替えレバー
- ㉓ 前後進スピードレバー
- ㉔ イグニッションキー
- ㉕ メインスイッチ
- ㉖ フューエルメータ <オプション>
- ㉗ ポンプユニット (ボディーカバー内)
- ㉘ ゲージ
- ㉙ ブレードカバー



## 4. 警告灯

- 警告灯は、エンジンに不具合が生じた時に点灯します。正常の時は、イグニッション ONで1度点灯しエンジン動作中は消灯します。
- 警告灯での異常箇所や不具合の特定はできません。警告灯点灯時の状況や機体の状態に応じて、適切な整備をお願いします。

### ● チャージランプ (CHG 赤)

- \* 発電電圧の低下時に点灯する。
- \* こんな時に点灯  
例) ・バッテリー電圧低下  
・ダイナモベルトの緩み  
・配線, リレーの不具合  
etc

CHGランプ



### ● オイルランプ (OIL 赤)

- \* エンジンオイルの圧力低下時に点灯する。
- \* こんな時に点灯  
例) ・エンジンオイル量の不足  
・オイルフィルターの詰まり  
etc

OILランプ



### ● MILランプ (MIL 緑)

- \* エンジンの異常が発生した場合に点灯する。
- \* こんな時に点灯  
例) ・吸気圧の異常  
・燃料圧力の異常 (ガス欠等)  
・エンジン冷却水の異常  
etc

MILランプ



### \* MILランプ消灯

整備後、エンジンが正常な状態であればバッテリーのマイナス端子を外し再度取り付ける。これによりMILランプは消灯します。

## 5. 機体操作

- 機体进行操作する時は、周囲の安全を確認して操作して下さい。

- ブレーキ

- \* ⑳パーキングブレーキのペダル部を下方に踏み込めばブレーキが効き、上げれば解除されます。
- \* ブレーキが効いた状態で走行すると、走行装置が損傷する場合があります。
- \* 機体の停車時又は機体から人が離れる場合は、㉔チェンジレバーを切断レンジに入れ必ずブレーキを掛けて下さい。

- エンジンの始動と停止

- \* エンジンの始動

- ・ ㉔パーキングブレーキを掛ける
- ・ ㉓前後進スピードレバーを中立位置にする
- ・ ㉒スロットルボリュームをアイドル位置にする  
(アイドル位置にしていないと、エンジンは掛かりません)
- ・ 周囲の安全確認 (可動, 回転部の接触防止, 換気など)
- ・ ㉑イグニッションキーを回し、エンジン始動

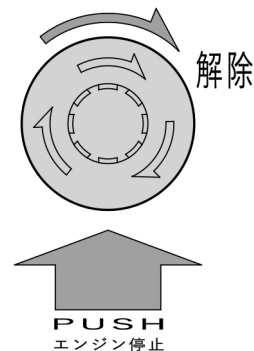


- \* エンジンの停止

- ・ ㉓前後進スピードレバーを中立位置にする
- ・ ㉒スロットルボリュームでエンジン回転をアイドル状態にする
- ・ ㉔パーキングブレーキを掛ける
- ・ ㉑イグニッションキーを回し、エンジン停止  
(オペレーターが機体から離れる時は、㉕チェンジレバーを切断レンジにし  
㉖メインスイッチをOFF, ㉑イグニッションキーからキーを抜く)

- エンジン非常停止

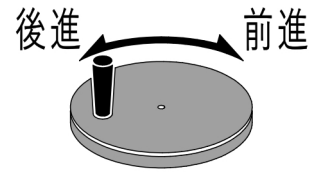
- \* 事故発生の恐れがある場合などに、㉔エンジン非常停止スイッチを押せばエンジンが停止します。スイッチを右に回すと、ロックが解除されエンジンの再始動ができます。



## ● 前後進

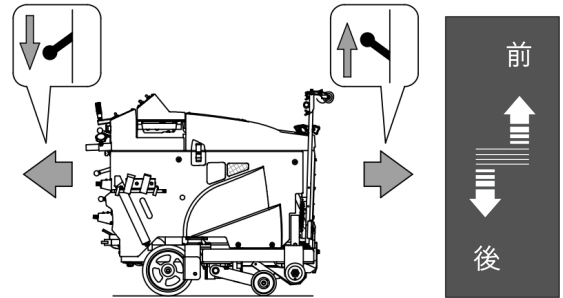
### ・ 手動走行

- \* ②⑥チェンジレバーを手動レンジにし、②⑧切り替えペダルを左側に倒し、②⑩手動ハンドルを右回しで前進、左回しで後進します。



### 自走

- \* ②⑥チェンジレバーを切断又は廻送レンジにし、③③前後進スピードレバーを上げて前進、下げて後進します。レバーを倒す角度でスピード調節ができます。
- \* ②⑧切り替えペダルを左側に倒した状態で自走を行うと、②⑩手動ハンドルが回ります。走行速度によっては大変危険です。

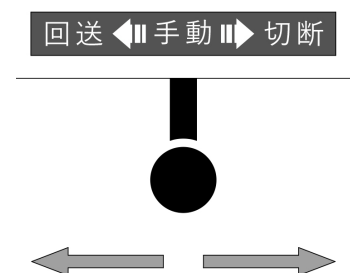


## ● 走行ON・OFF機構 <オプション>

- \* ⑦走行ON・OFFスイッチ操作で、③③前後進スピードレバーの位置に関係なく機体を走行・停止させる事ができます。

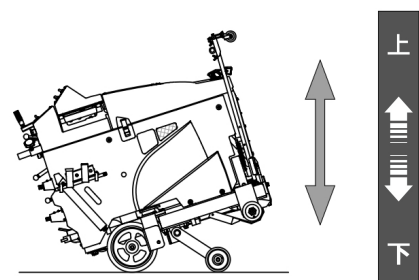
## ● シフトチェンジ

- \* シフトチェンジは、③③前後進スピードレバーを中立位置にし、車体の走行を停止して行って下さい。
- \* シフトチェンジは、②⑨パーキングブレーキを効かせて車体が動き出さないよう十分に注意して下さい。
- \* ②⑥チェンジレバーを使用するレンジ（廻送／手動／切断）に合わせて下さい。



## ● 昇降操作

- \* ②①油圧昇降レバーの操作で機体前側を上下させる。レバーを上には動かすと上がり、レバーを下には動かすと下がります。



## ● 横振り機構 <AZZ II 506専用 オプション>

- \* ⑳前車輪／横振り機構切り替えレバーを下側にして、㉑油圧昇降レバーを上動かすと横振りキャスターがセットされ、㉑油圧昇降レバーを下に動かせば横振りキャスターが格納されます。
- \* ㉑前車輪／横振り機構切り替えレバーを上側にして、㉑油圧昇降レバーの操作で機体前側の昇降になります。

## ● 推進力切り替え機構（切断リリースバルブ）

- \* ㉒チェンジレバーが切断レンジで機体が前進の時に、㉓推進力切り替えレバーの操作により、走行推進力を抑制し機体のコントロール性の向上及びブレードへの過大な負荷を軽減します。
- \* Loレンジでの廻送走行は、Hiレンジのようなスピードが出ません。Loレンジの作業後は、Hiレンジに切り替えて下さい。
  - ・ Hiレンジの主な作業  
小口径ブレード（浅い）、柵切りなど短距離で頻繁な移動、登り坂など推進力を要する場合
  - ・ Loレンジの主な作業  
大口径ブレード（深い）、鉄筋入りなど推進力を抑えたい場合



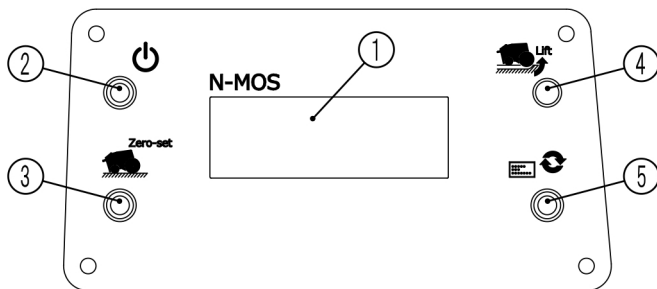
## ● バキューム装置

- \* ㉔バキュームスイッチ操作で、切断作業により出た汚泥を㉕ポンプユニットで吸引・排出を行います。
- \* ㉔バキュームスイッチの操作は、エンジン回転数をアイドリング状態にして行って下さい。エンジン回転数が高い状態でスイッチをONにすると、ベルトに負荷が掛かる為ベルトのスリップや摩耗、切れる場合があります。



## 6. N-MOS (エヌ-モス) <オプション>

### ● 名称



- ① ディスプレイ
- ② 電源スイッチ
- ③ 切り込み深さゼロ点セットスイッチ
- ④ 浮き警告灯
- ⑤ 表示切り替えスイッチ

### ● 基本操作

#### \* 電源スイッチ

- ・ メインスイッチ（項目3. 各部名称③）がONの状態で、②電源スイッチを「上」に倒すと電源が入ります。「下」に倒すと電源が切れます。
- ・ ②電源スイッチは以下の手順で操作して下さい。
  - ・ ONの操作：メインスイッチON → 電源スイッチON
  - ・ OFFの操作：電源スイッチOFF → メインスイッチOFF

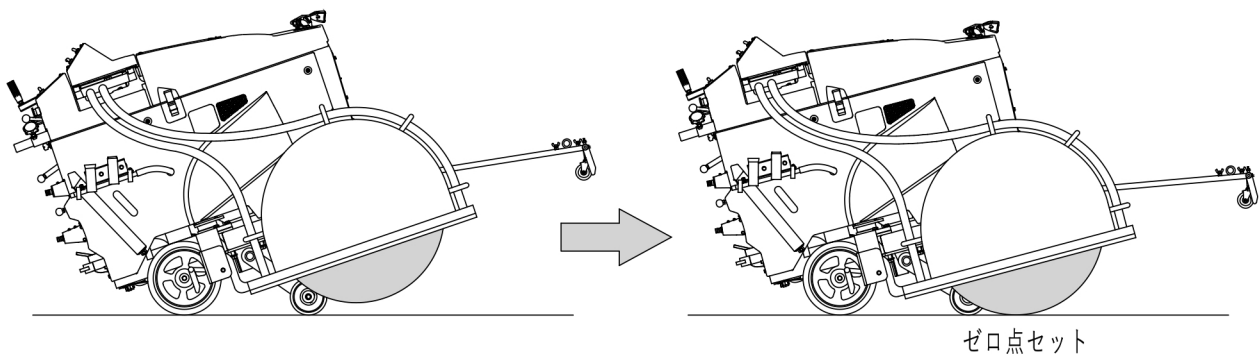
**注) エンジンを始動する前にN-MOSの電源をONにして下さい。エンジン始動後にN-MOSの電源をONにすると、エンジン情報（エンジン負荷率、燃料消費率）が表示されなくなりますので、ご注意ください。**

#### \* N-MOSの再起動

- ・ N-MOSを再起動させる時は、電源スイッチをOFFにし5秒以上あいだを空け再度電源スイッチをONにして再起動します。電源スイッチのON・OFFを素早く行なうと、①ディスプレイの表示文字が正しく表示されません。

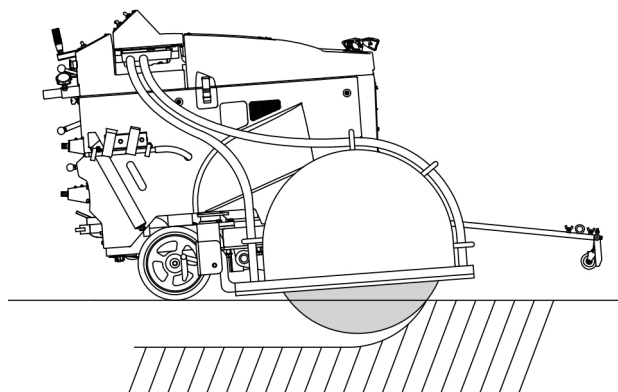
### \* 切り込み深さゼロ点セットスイッチ

- 機体にブレードを取り付け、エンジンが停止した状態でブレードを地面に接地させます。③切り込み深さゼロ点セットスイッチを上へ倒す事でゼロ点セット完了。
- ディスプレイの「フカサ」が、0（ゼロ）になっている事を確認して下さい。
- ゼロ点をセットする時、昇降レバーを下へ大きく動かすと機体が勢いよく下降します。ブレードの破損に繋がりますので、ゆっくりと慎重な操作をお願いします。



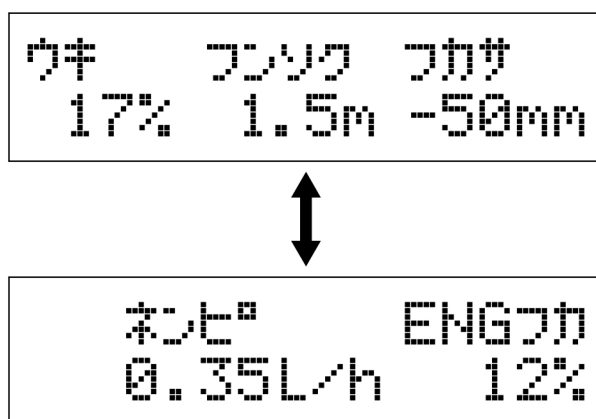
### \* 浮き警告灯

- 切断中にブレードの浮き上がりがある時に、しきい値を超えると点灯します。



**\* 表示切り替えスイッチ**

- ⑤表示切り替えスイッチを上倒す度に、「浮き指標・走行速度・切り込み深さ」と「燃料消費率・エンジン負荷率」の画面に切り替わります。
- ⑤表示切り替えスイッチを下倒しても、表示の切り替えはできません。





## ● 表示内容

\* 浮き指標，走行速度，切り込み深さ，燃料消費率，エンジン負荷率を表示します。

ウキ	フソク	フカサ
17%	1.5m	-50mm

浮き指標

走行速度

切り込み深さ

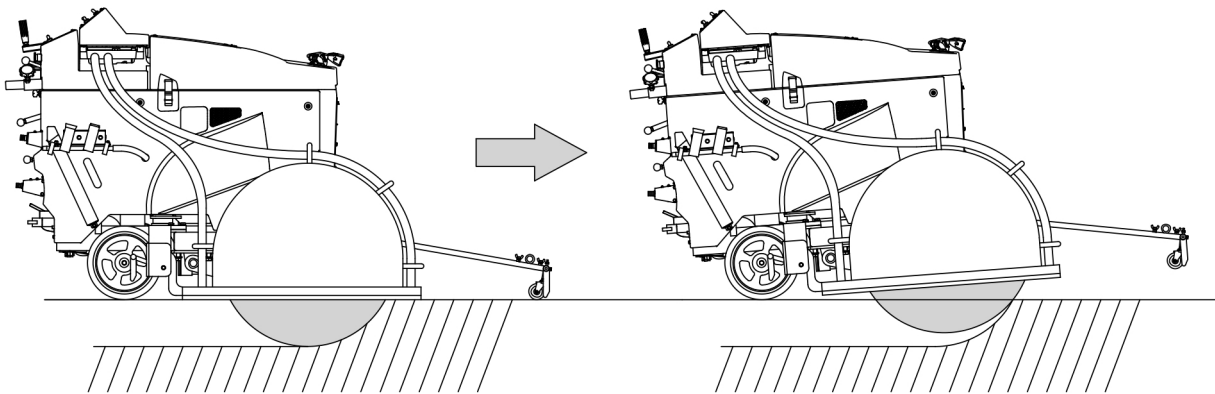
ネセ <sup>ロ</sup>	ENGフカ
0.35L/h	12%

燃料消費率

エンジン負荷率

### \* 浮き指標（ウキ）

- ・ 切断中にブレードの浮き上がりを0%～100%で表示。  
（数値が100%に近づくほど、浮いた状態になります。）
- ・ 路面の凹凸や傾斜では、精度が下がります。

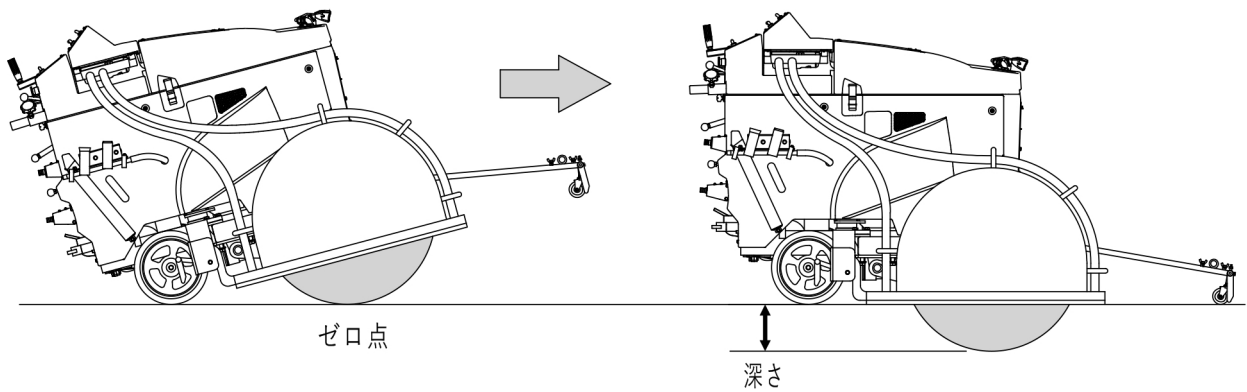


### \* 走行速度（フソク）

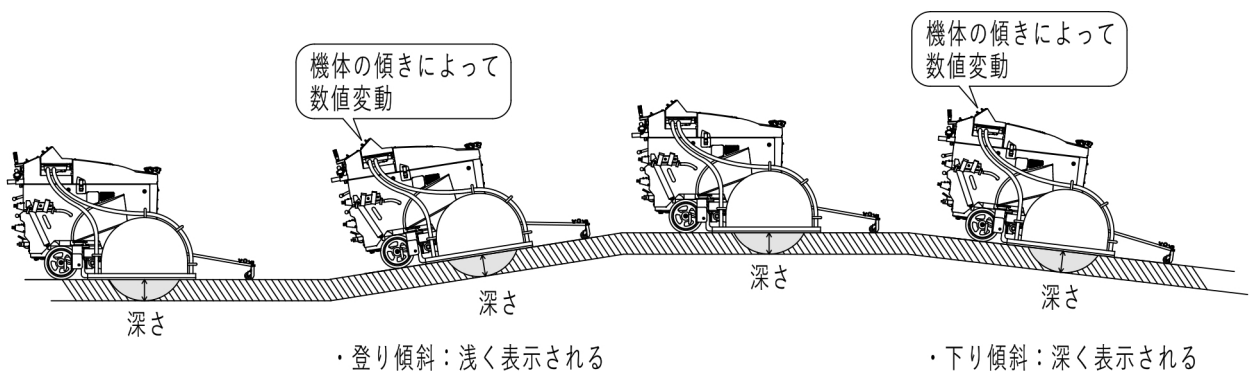
- ・ 走行用トランスミッションの回転速度を、走行速度に換算しています。
- ・ 前進・後進どちらも正の値で表示されます。
- ・ 後車輪の摩耗や走行中に後車輪のスリップがあると、正確な速度計測ができません。

### \* 切り込み深さ (フカサ)

- ・ 設定したゼロ点からの機体の傾き角度を、切り込み深さに換算しています。
- ・ 切り込んだ深さは、マイナス値で表示されます。



- ・ 路面の凹凸や傾斜の変化により、実際の切り込み深さに変動がなくても数値が変動する事があります。



### \* 燃料消費率 (ネンビ)

- ・ エンジンECUから取得した、瞬間的な燃料消費量。

### \* エンジン負荷率 (ENGフカ)

- ・ エンジンECUから取得した、最大トルクに対する現在のトルク率。

## 7. 作業前点検・整備

- 機体の始動前に、必ず点検、整備を行って下さい。
- 点検・整備を行う時は、機体及びエンジンが冷めている状態で安全が確保されている事を確認して行って下さい。
- 機体に異常がある場合は、速やかに整備を行って下さい。

### \* 各部ベルト

- ・ 緩みや摩耗、亀裂がないか確認。ベルトを指で押して10mmほど沈む程度の張りにする。ベルトの張り過ぎに注意して下さい。

### \* パーキングブレーキ

- ・ ブレーキが正常に効き、解除されるか確認。

### \* 冷却水

- ・ ラジエーターやサブタンク内の冷却水が適量入っているか確認。
- ・ ホースやドレンから漏れがないか確認。

### \* エンジンオイル

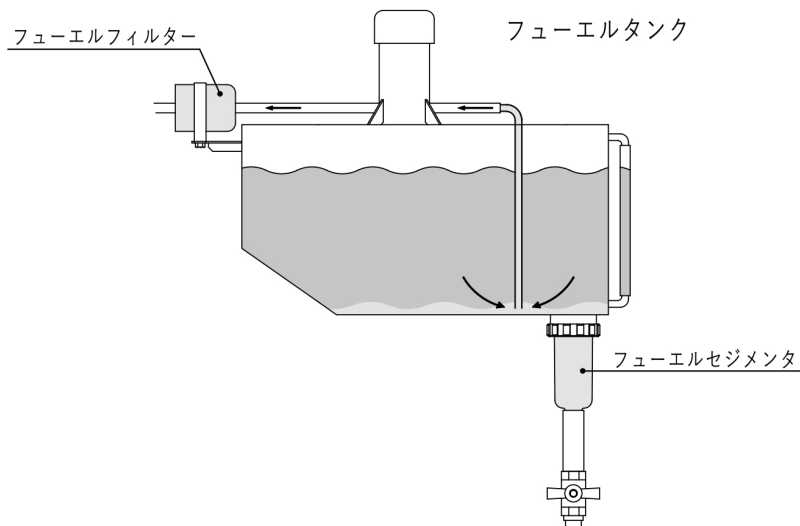
- ・ エンジンオイルが適量入っているか確認。
- ・ エンジンオイルが汚れていないか確認。

### \* フューエル

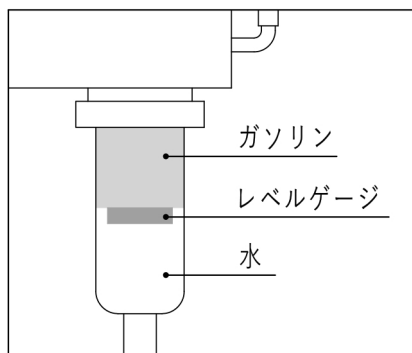
- ・ ガソリンが入っているか確認。
- ・ フューエルタンク下にフューエルセジメンタ（水抜きタンク）があります。タンク内に水が溜まると、レベルゲージ（赤いリング）が浮いてきます。水が溜まっている事が確認できたら、フューエルセジメンタ下にあるコックより水を排出して下さい。

## ● フューエルタンク水抜き

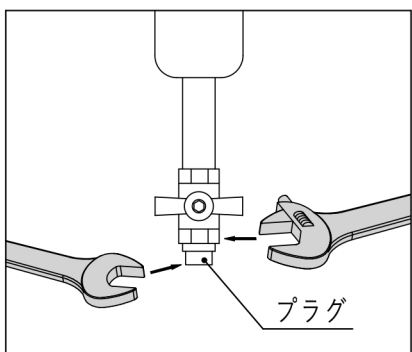
- \* タンク内に水が溜まると、その水を燃料ポンプが吸い上げてしまいエンジントラブルに繋がる可能性があります。



## ● 水抜き手順



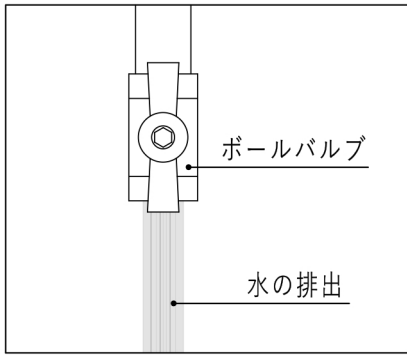
- ① フューエルセジメンタに水が溜まると、中にあるレベルゲージが浮いてきます。水が溜まっている事が確認できたら水抜き作業を行って下さい。



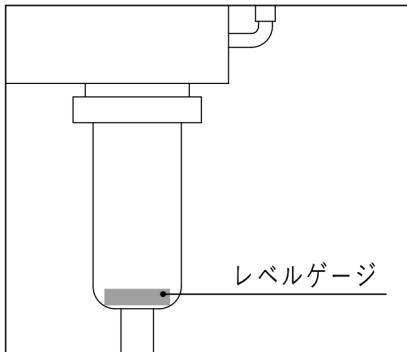
- ② フューエルセジメンタ下にあるプラグを外します。この時、ホースやフューエルセジメンタに負荷を掛けないように、モンキー、スパナ等で供回りを防いで下さい。

ボールバルブ：対角 25

プラグ：対角 14



- ③ 受け皿を用意し、ボールバルブのコックを開きます。
- ④ フューエルセジメンタに溜まっている水の量を確認しながら、水を排出します。



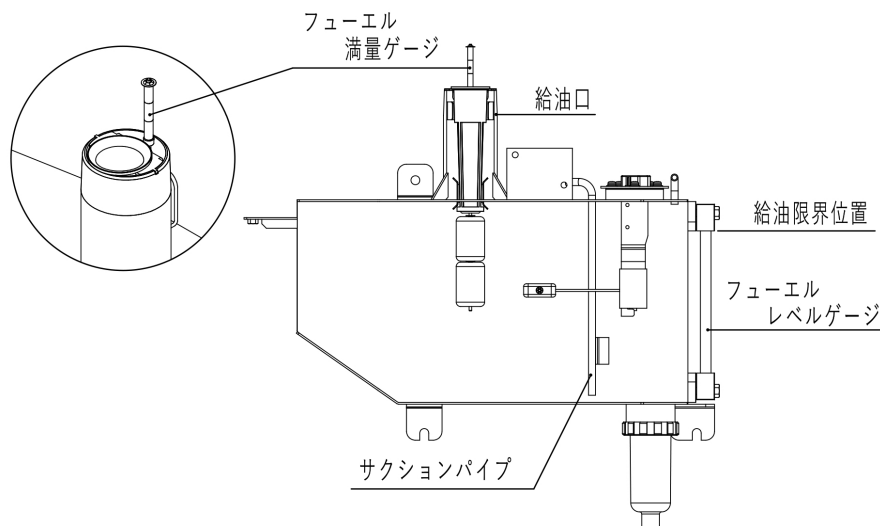
- ⑤ 水を排出しきった事を確認します。
- ⑥ ボールバルブのコックを閉め、プラグを取り付けて作業終了です。

## ● 給油

- \* フューエルタンクへの給油について（ガソリン漏れ予防）
  - ・ 給油の時は、エンジンを停止しメインスイッチOFFにして行って下さい。
  - ・ **規定給油量は 13.4 リットル**（サクシオンパイプ底～給油限位置）です。規定給油量以上の給油は、機体が傾斜した時に溢れる可能性があります。規定給油量以上給油しないで下さい。
  - ・ 機体を水平状態にして給油を始めて下さい。
  - ・ 満量計ゲージの**赤印**が給油口上部に達した時点で給油を停止して下さい。
  - ・ 給油後、レベル計の赤玉が**給油限界位置**以下であるかを確認して下さい。（使用条件により、給油限界位置は更に低くして下さい）
  - ・ 給油口キャップは確実にしめて下さい。

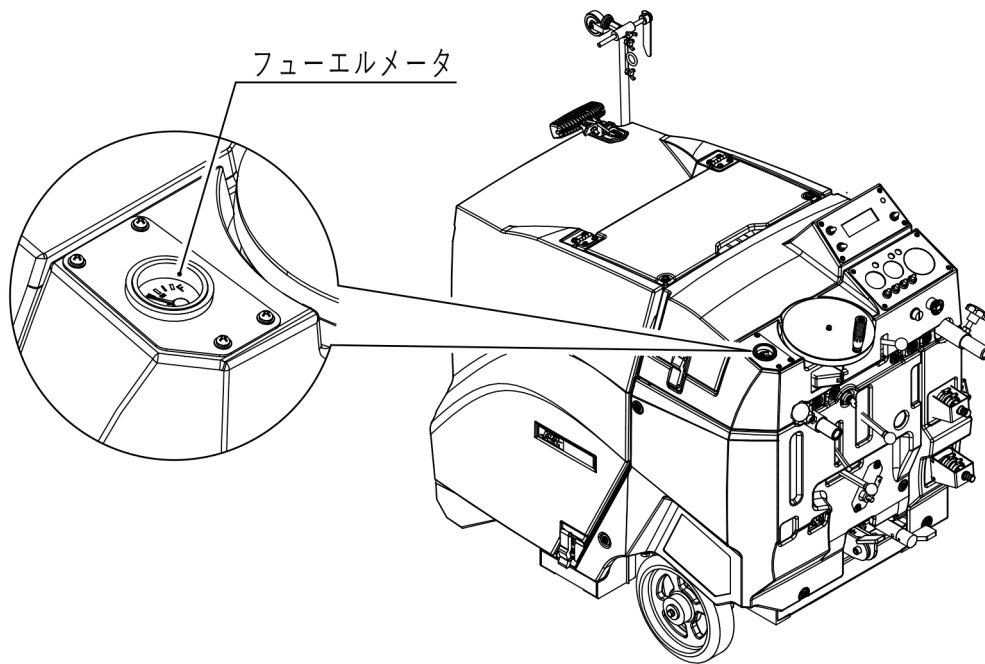
## ● 補助機器

- \* フューエルタンクには、以下の補助機器が装着されています（いずれも 車体水平状態にて 正しく機能します）
- \* **フューエル満量ゲージ**
  - ・ 先端に印（青・黄・赤）が付いている棒が浮き沈みし、給油時において給油量状態の目安になります。傾斜地または車体が傾斜した状態では、作動しない場合がありますのでご注意下さい。
- \* **フューエルレベルゲージ**
  - ・ 透明チューブの中に赤玉が浮いており、残量状態を車体後方より確認できます。



\* **フューエルメータ <オプション>**

- 給油時は、フューエルメータは作動しません。
- 給油後、メインスイッチ ONにしイグニッションONで動き出します。



## 8. 積み込み・積み下ろし・運搬

- パワーゲートに不具合がある場合は、機体の落下や重大な事故になる恐れがあります。日常からパワーゲートの点検・整備をお願いします。

- **トラックへの積み込み**

- \* 積み込み作業は、必ず平坦地で行って下さい。
- \* ブレードカバー及びブレードは、機体から必ず外して積み込んで下さい。
- \* パワーゲートに機体を載せゲートを昇降させる時は、必ず

- ・ ブレーキを掛ける
- ・ エンジンを停止する
- ・ チェンジレバーを切断レンジに入れる

上記の状態のパワーゲートの操作をして下さい。

- \* 荷台に積載後、チェンジレバーを切断レンジにしブレーキを掛けロープ等でしっかりと固定して下さい。

- **運搬**

- \* 急発進、急ブレーキ、急ハンドル等しないよう、安全運転に心掛けて下さい。

- **トラックから積み下ろし**

- \* パワーゲートの端部に、落下防止のストッパーなどを設けて下さい。
- \* 手動走行での移動はしないで下さい。

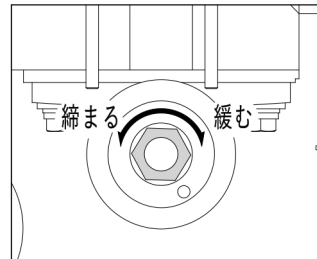
- 積み込み・積み下ろしの際ゲートの上に機体がある時、機体の後ろに立って機体操作をしないで下さい。重大な事故になる可能性があります。  
機体落下の危険を感じたら直ぐに逃げて下さい。



## 9. 切断作業

### ● ブレードの取り付け

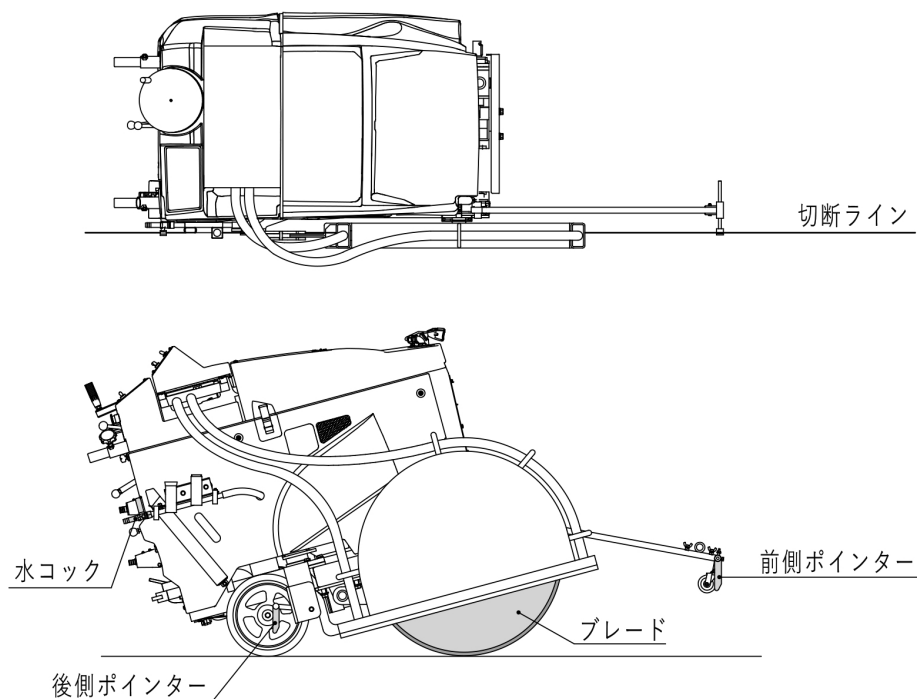
- \* コンクリートカッター用に設計された、ブレードをお使い下さい。
- \* クラックやチップ飛び等、破損したブレードは使用しないで下さい。
- \* フランジナットはM27（対角41）左ねじになります。
- \* フランジナットは、付属部品のスパナとテンショナーロッドで締め付ける。  
（締め付けの際、手や指を叩かないよう注意して下さい。）



### ● ブレードカバーを装着する

### ● 切断ラインに合わせる

- \* ゲージを前に出し、前側のポインター、ブレード、後側のポインターの位置を切断ラインに合わせる。

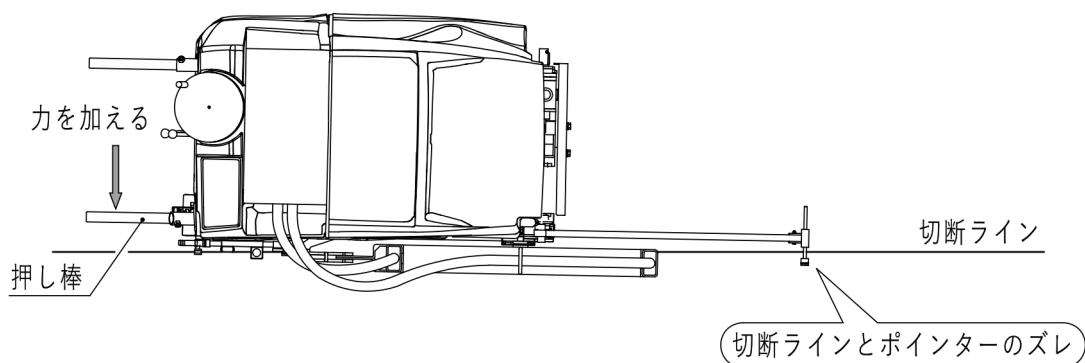


### ● ブレード冷却水の供給と切断汚泥の吸引

- \* 機体に給水ホースと排水ホースを繋ぎ、水タンク側と機体の水コックを開きブレード側から水が出るのを確認。
- \* エンジンを始動し、エンジン回転数をアイドリング状態でバキュームスイッチを入れる。

## ● 切断

- \* ボリュームの操作でエンジン回転数を適性の周速にし、昇降レバー操作でゆっくりとブレードを下ろしていく。
- \* 前後進スピードレバーの操作で切断開始。切断速度が速過ぎ、過度の押し過ぎがあるとブレードの破損やブレードが切断ラインから外れ、真っすぐ切断できない可能性があります。
- \* 切断中、切断ラインとポインターにズレが生じた場合、押し棒に力を加えずれの修正をして下さい。



## ● 切断後

- \* 切断終了後、前後進スピードレバーを中立位置にし、昇降レバー操作でゆっくりとブレードを上げる。
- \* エンジン回転数をアイドリング状態にし、バキュームスイッチを切り水コックを閉める。
- \* エンジンを停止し、ブレードカバー及びブレードを外す。  
(機体及びブレード等熱くなっています。十分注意して下さい。)

## 10. 作業後点検・整備・清掃

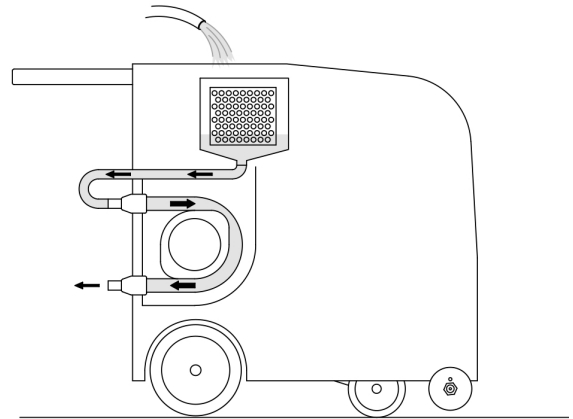
### ● バキュームタンク，チューブホース

\* 作業後に、ブレーキを掛けエンジンを始動、バキュームスイッチONの状態

- ・ バキュームタンク内
- ・ 砂利かご
- ・ チューブホース内
- ・ 排水ホース内

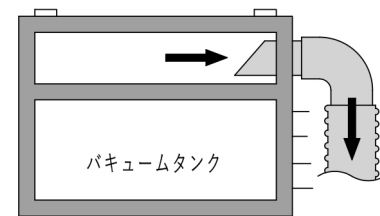
を清水で洗って下さい。

\* 付着，滞留している汚泥が固着する前に洗い流し、チューブホース内の水をなるべく排出させて下さい。



### ● ブロアー

\* 作業後にエンジン回転数をアイドリング状態で、バキュームタンクのブロアー吸入口に清水を流しブロアー内及び、ダクトホース内を洗浄して下さい。

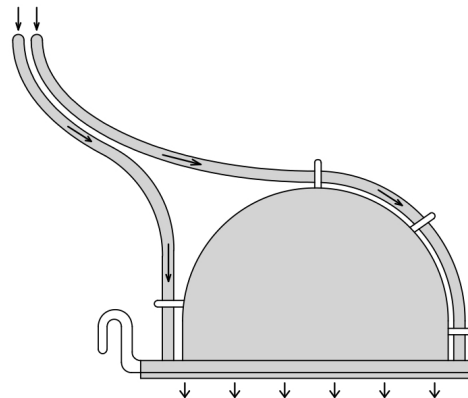


### ● ブレードカバー

\* 作業後に

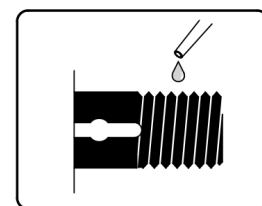
- ・ ブレードカバー内側
- ・ 底面
- ・ バキュームホース内
- ・ 汚泥通路内

に付着，滞留している汚泥を固着する前に洗い流して下さい。



### ● ブレードシャフトねじ部

\* 泥や埃がネジ山に付いた状態でナットを締め付けると、オネジとメネジの噛みこみやネジ山が摩耗してしまいます。作業前，作業後にねじ部への注油，3日に1度ワイヤーブラシ等で洗浄して下さい。



## 1 1. 定期点検

- より良く安全にご使用して頂くため、定期的に点検、整備を実施して下さい。

ガソリン	<p>フューエルタンク水抜き フューエルタンク下フューエルセジメンタで確認</p>
オイルフィルター	交換目安：2ヶ月又は、100時間 毎
エアエレメント	<p>清掃：1ヶ月又は、50時間 毎 交換目安：6ヶ月又は、300時間 毎</p>
ブレードミッションオイル (AZZ406, AZZ II 506)	<p>交換目安：初回50時間 以降6ヶ月又は、300時間 毎 種類：マルチギヤオイル SAE 75W-90 耐熱用 相当品 油量：1ℓ</p>
走行ミッション	<p>種類：ギヤオイル 80W-90 相当品 油量：2ℓ</p>
HST	<p>種類：エンジンオイル SE 10W-30 相当品 油量：350mℓ *オイル交換時は、エア抜き作業もお願いします。</p>
油圧パッケージ	<p>種類：ハイドロオイル ISO 32 相当品 油量：800mℓ</p>
ポンプユニット	<p>種類：NAKAYAMA純正オイル 油量：500mℓ *ポンプオイルは、水溶性です。廃棄される場合は、各地域のルールに沿って廃棄して下さい。</p>
パーキングブレーキ	不具合がある場合は、直ぐに整備を行って下さい。
油圧ホース 電装線	<p>交換目安：5年を目安に交換をお勧めします。 *樹脂部分の経年、温度、湿度、摩擦などによる変質や破損の可能性がります。</p>

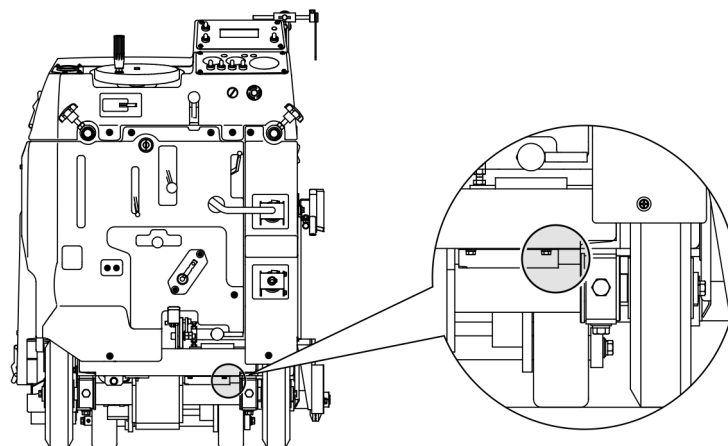
エンジンマウント	交換目安：500時間又は、1年 毎 *機体の振動が大きい場合は、交換して下さい。
----------	---

- エンジンマウントは、機体に伝わるエンジンの振動を抑える部品です。経年劣化やベルトの張り具合により、消耗期間が異なります。
- エンジン～ブレードシャフトのベルトの張り過ぎに注意して下さい。ベルトの張り過ぎによりエンジン左側が前に引っ張られ、エンジンマウントの消耗が激しくなるほか、ベルトの通りがずれてベルトの消耗も激しくなります。
- エンジンマウントの交換を怠ると、エンジンの振動が機体に伝わりやすくなり、各部品の損傷に繋がります。

エンジンオイル	交換目安：初回10時間 以降50時間 毎 種類：エンジンオイル 10W-30 相当品 油量：5ℓ（フィルター同時交換時 5.2ℓ）
---------	---

### ● エンジンオイル交換

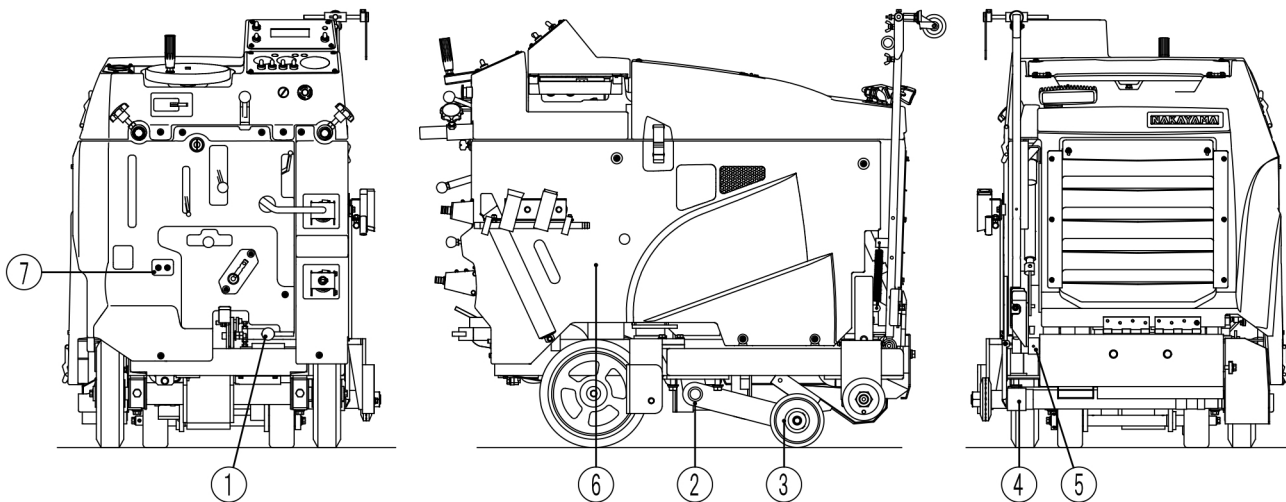
- \* 機体後方右下、ギヤ保護カバーにドレンホースが格納してあります。廃油を入れる容器を用意し、ドレンホースよりエンジンオイルを抜いて下さい。



- \* エンジンオイルを入れる時は、機体を水平にして溢さないようゆっくり入れて下さい。

グリスアップ	ブレードシャフトピロー 30時間 毎 前車輪アームピロー 200時間 毎 カウンターシャフトピロー, 前車輪 100時間 毎 * はみ出てきたグリスは、綺麗に拭き取って下さい。
--------	---

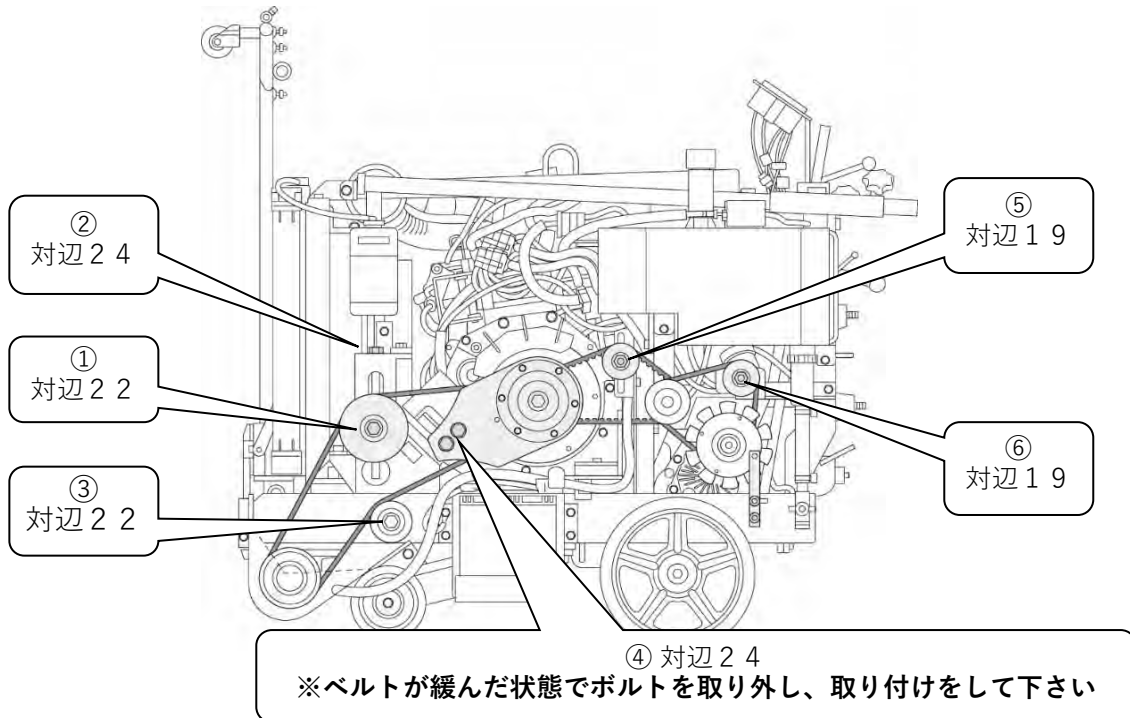
### ● グリスアップ箇所



- ① 切り替えペダル
- ② 前車輪アームピローブロック 2ヶ所
- ③ 前車輪 (2ヶ所)
- ④ ブレードシャフトピローブロック 2ヶ所
- ⑤ ガイドアーム
- ⑥ カウンターシャフトピローブロック 2ヶ所
  - \* 機体内部
  - \* FRPリアカバーを外す
- ⑦ グリスアップ集中配管 <オプション>
  - \* グリスアップ集中配管が付いている機体は、カウンターシャフトピローブロックへのグリスアップは、ここから行います。

## 1 2. ベルト交換

- バッテリーのマイナス端子を外して、作業を実施して下さい。
- ベアリングケースホルダーのボルト④は、エンジンプーリーに掛かっているベルトを 緩めてから外す 張る前に固定する 手順を厳守して下さい。



### ● エンジン～ブレードシャフト

1. FRP ボンネットカバーを開け、ベルトカバーを外す
2. ①, ②のボルトを緩め、テンションプーリーを下にスライドさせる
3. ③のボルトを外し、メンテナンスヒラプーリーを外す

### ● カウンターシャフト～HST

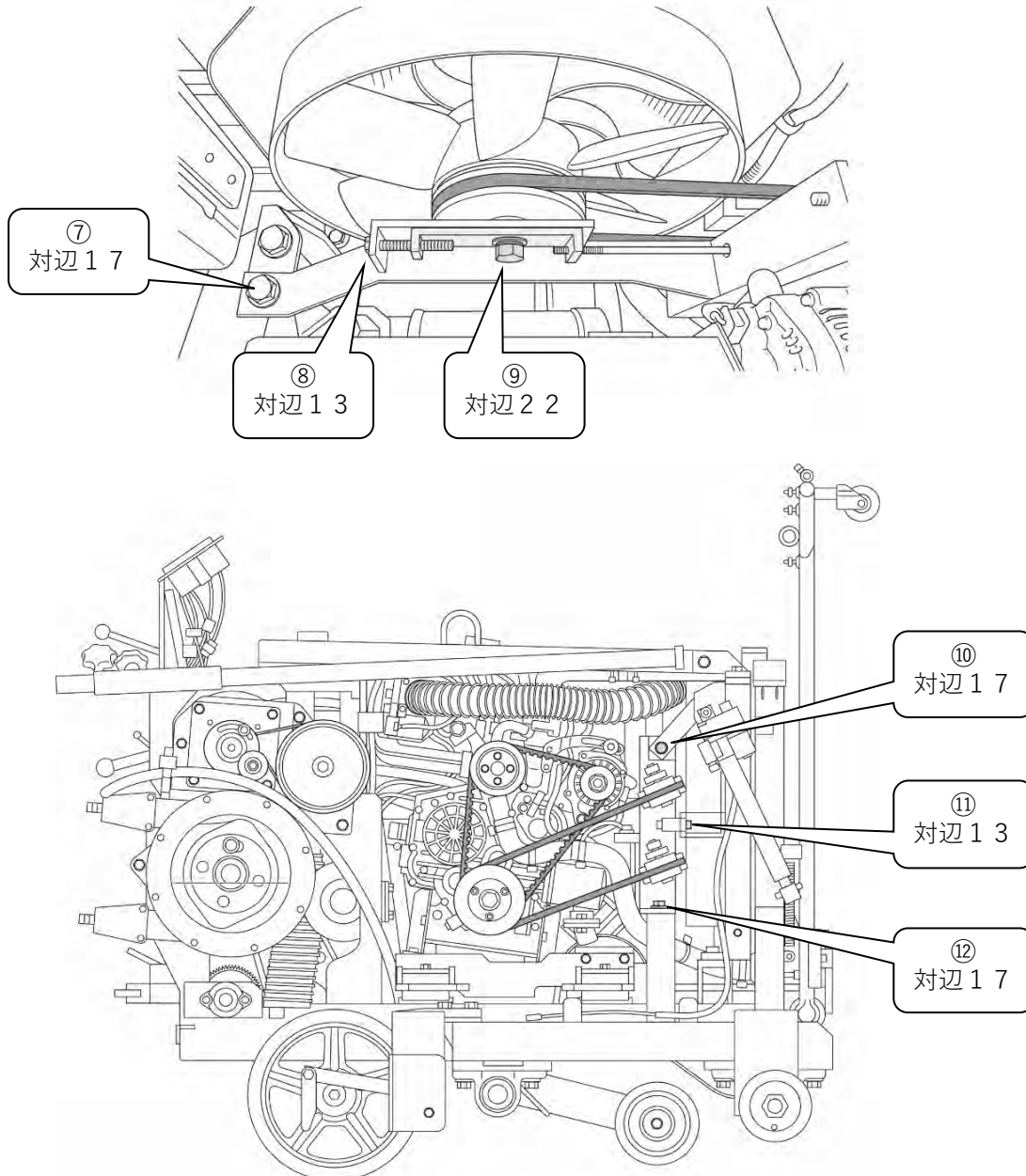
1. FRP リアカバーを外す
2. ⑥のナットを緩めて、テンションプーリーをスライドさせる
3. オプションでHST電磁クラッチが付いている場合は、クラッチの配線端子と廻り止め金具を外す

### ● エンジン～カウンターシャフト

1. エンジン～ブレードシャフト、カウンターシャフト～HSTのそれぞれのベルトを外す
2. ⑤のナットを緩めて、テンションプーリーをスライドさせる
3. ④のボルトを外し、ベアリングケースホルダーをフリーにする

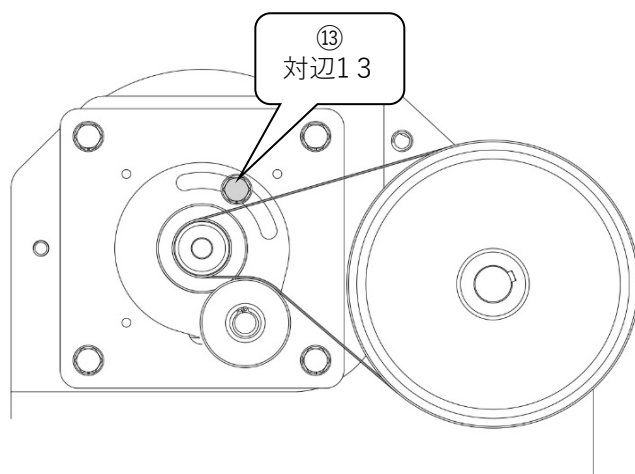
※ 取り付けの時は、④のボルトを固定してからベルトを張って下さい





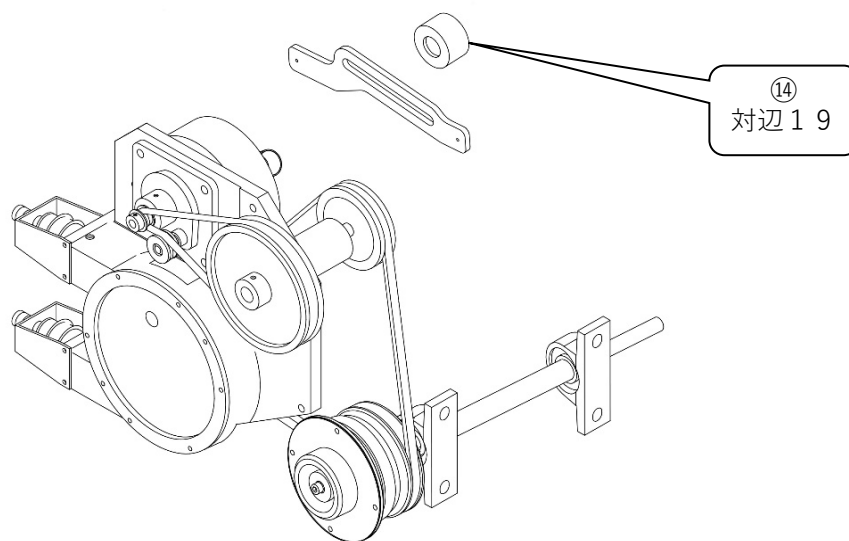
## ● エンジン～ラジエーターファン

1. FRPボンネットカバーを開け、サイドカバーを外す
  2. ⑨を緩める
  3. ⑧を緩める（ファンプーリーがスライドしてベルトが緩む）
  4. ⑦, ⑩, ⑪, ⑫のボルトを外す
  5. 手順4で外したボルト部のそれぞれの隙間を通してベルトを外す
- ※ ⑪ボルトで固定しているリンクでシュラウドとラジエーターファンの隙間を調整しています。ベルト交換の場合は、このリンクを回さないで下さい。
- ※ シュラウドとラジエーターファンが干渉する場合は、このリンクで調整します。



### ● ブローアベルト

1. FRPサイドカバーを外す
2. ⑬のボルトを緩め、テンションブラケットを回す



### ● 減速機～カウンターシャフト

1. FRPリアカバーを外す
2. ポンプユニット内側、スライドプーリー部⑭のナットを緩めてプーリーをスライドさせる
3. 電磁クラッチの配線端子と廻り止め金具、ダクトホースを外す
4. 電磁クラッチとフレームの隙間を通してベルトを外す

### 1 3. 長期間使用しない場合

- 燃料残容量を規定給油量（給油限界位置）以下の状態にしてください。気候や気温の変化で、燃料が膨張する可能性があります。
- 機体を長期間（約1ヶ月以上）使用していない状態のまま動かすと、オイルの乾きや各部の固着などにより、機体動作に不具合が生じる恐れがあります。

**\* 週に1度、10分～20分程度**

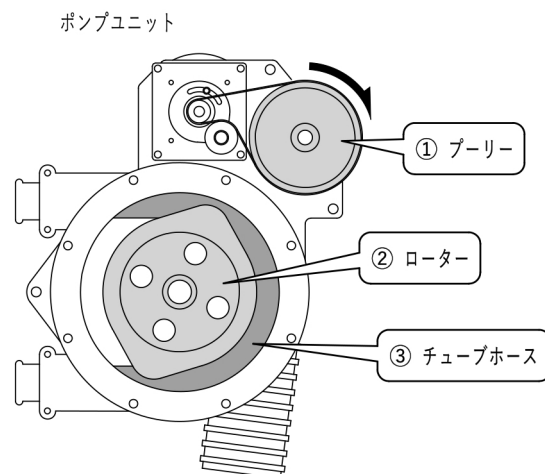
- ・ エンジン
- ・ 前後進
- ・ 油圧の昇降
- ・ バキューム機構

など各機構を動かし、不具合を未然に防いで下さい。

### 1 4. 長期間放置してしまった時

- 作業前点検・整備及び、バッテリーの確認を行って下さい。

- エンジンを始動をする前に、FRPサイドカバーを外し、ポンプユニットの①プーリーを手で矢印の方向に回す。
- ①プーリーを回すと②ローターが回るので、ローターを2～3周回してチューブホースにオイルを馴染ませる。



以上の作業を行って下さい。

- \* その他プーリー各部は、ベルトを緩めてプーリーを手で回すなど固着がないか確認してからエンジンを始動し、本機をお使い下さい。

## 15. トラブルシューティング

機能	現象	原因	処置	
バ キ ュ ー ム	吸いが悪い	ベルトの緩み、切れ	増し締め、交換	
		バキュームスイッチ不良	配線確認、交換	
		ブロアー不良	交換	
		ブレードカバー目詰まり	掃除	
		タンク蓋パッキン不良	交換	
		ブロアーパッキン不良	交換	
		電磁クラッチ作動不良	配線確認、交換	
		ダクトホースの詰まり	掃除、交換	
	オーバ ー フ ロ ー	スプリングホースの緩み、穴明き	増し締め、交換	
		バキュームタンク目詰まり	掃除	
		給水量が多い	給水量調整	
	排出しない	バキュームスイッチ不良	配線確認、交換	
		スプリングホースの緩み、詰まり	増し締め、交換	
		バキュームタンク目詰まり	掃除	
		ベルトの緩み、切れ	増し締め、交換	
		電磁クラッチ作動不良	配線確認、交換	
		チューブホース不良	交換	
		ローター、減速器不良	交換	
	昇 降	上がらない	バッテリー容量不足	充電、交換
			油圧スイッチ不良	当り角度調整、交換
			パッケージブロック不良	分解掃除、交換
オイル量不足			補充	
パワーパッケージ不良			カーボンブラシもしくは全体交換	
油圧シリンダー不良			交換	
前輪アームクレビス変形			修正、交換	
下がらない		油圧シリンダー不良	交換	
		パッケージブロック不良	分解掃除、交換	
		前輪アームクレビス変形	修正、交換	
走 行	遅い又は 走らない	ベルトの緩み、切れ	増し締め、交換	
		HSTエア混入	油補充およびエア抜き	
		HST ON-OFF 電磁クラッチ不良	配線確認、交換	
	真直ぐ走行 しない	前後車軸の芯ずれ	芯出し調整	
ブレーキの 効きが悪い	走行ミッションブレーキ不良	交換		

機能	現象	原因	処置
ゲージ	昇降しない	パワーシリンダー不良	交換
		ゲージスイッチ不良	配線確認、交換
		ヒューズ切れ	交換
		配線接触不良	嵌め合わせ確認
		バッテリー容量不足	交換
	パワーシリンダー脱落	取付け部破損	シリンダーケース交換
カップリング	頻繁に壊れる	芯合わせ不良	芯だし
電装	水温計針が動かない	水温計不良・配線不良	交換
	タコメーター針が動かない	タコメーター不良・配線不良	交換
その他	音,振動が増大した	エンジンマウント劣化	交換
		各部ベアリング劣化	グリスアップもしくは交換
		プーリー, シャフト嵌め合い不良	どちらか1方もしくは両方交換
		シャフトの劣化	交換
		フランジの劣化	傷修正もしくは交換
	切断ラインから外れる	軸受け(ピローブロック)劣化	グリスアップもしくは交換
		押し込み過多	送りスピード調整
		ブレード周速度の不適合	適切な周速に調整
		シャフト, 前後車軸の芯ずれ	芯出し調整
	エンジンが掛からない	バッテリー容量不足	交換
		イグニッションキースイッチ不良	交換
		ヒューズ・リレー不良	交換
		セルモータ不良	交換
		非常停止が掛かっている	非常停止スイッチの解除
エンジン回転数が高い		回転数をアイドルにする	
フューエルタンク内の水を吸い上げる		フューエルタンク内の水抜き	

\* 仲山鉄工株式会社のホームページにも、トラブルシューティングや資料を掲載しています。そちらもご覧ください。



AZZ 6 シリーズ  
配線図

**JOINT POINTS**

JOINT A: The points below are joined.

IGNITION FUSE(EA)
ALTERNATOR FUSE(A)
THROTTLE ACTUATOR FUSE(P)
TRMAP BOOST FUSE(B)
VEZ FUSE(S)
COIL_CUT_#1,2,3,4 FUSE(L)
FPM FUSE(M)
INJ_CUT_#1,2,3,4 FUSE(L)
VEZ FUSE(S)
COIL_CUT_#1,2,3,4 FUSE(L)
VEZ FUSE(S)

JOINT B: The points below are joined.

BATTERY+
KEY SWITCH FUSE(OFF)
ALTERNATOR CHARGE INDICATION LAMP
MIL LAMP

JOINT C: The points below are joined.

ECM FUSE(L)
IGNITION FUSE(EA)
VEZ FUSE(S)
COIL_CUT_#1,2,3,4 FUSE(L)
FPM FUSE(M)
INJ_CUT_#1,2,3,4 FUSE(L)
VEZ FUSE(S)
COIL_CUT_#1,2,3,4 FUSE(L)
VEZ FUSE(S)

JOINT D: The points below are joined.

ECM FUSE(L)
IGNITION FUSE(EA)
VEZ FUSE(S)
COIL_CUT_#1,2,3,4 FUSE(L)
FPM FUSE(M)
INJ_CUT_#1,2,3,4 FUSE(L)
VEZ FUSE(S)
COIL_CUT_#1,2,3,4 FUSE(L)
VEZ FUSE(S)

connector: DELPHI 1326986

1	2	3	4	5	6
signal	SV	SV	SV	SV	SV

FPM DELPHI 1218025

1	2	3	4	5	6
signal	SV	SV	SV	SV	SV

FPM DELPHI 1218042

1	2	3	4	5	6
signal	SV	SV	SV	SV	SV

connector: DELPHI 1326986

1	2	3	4	5	6
signal	SV	SV	SV	SV	SV

25	CRANK+
26	CRANK-
27	COM+
28	COM-
29	KNOCK+
30	KNOCK-
31	5V FUEL
32	5V FUEL
33	MAP
34	DPM+
35	DPM-
36	TPS1
37	TPS2
38	TPS3
39	TPS4
40	TPS5
41	TPS6
42	TPS7
43	TPS8
44	TPS9
45	TPS10
46	TPS11
47	TPS12
48	TPS13
49	TPS14
50	TPS15
51	TPS16
52	TPS17
53	TPS18
54	TPS19
55	TPS20
56	TPS21
57	TPS22
58	TPS23
59	TPS24
60	TPS25
61	TPS26
62	TPS27
63	TPS28
64	TPS29
65	TPS30
66	TPS31
67	TPS32
68	TPS33
69	TPS34
70	TPS35
71	TPS36
72	TPS37
73	TPS38
74	TPS39
75	TPS40
76	TPS41
77	TPS42
78	TPS43
79	TPS44
80	TPS45
81	TPS46
82	TPS47
83	TPS48
84	TPS49
85	TPS50
86	TPS51
87	TPS52
88	TPS53
89	TPS54
90	TPS55
91	TPS56
92	TPS57
93	TPS58
94	TPS59
95	TPS60
96	TPS61
97	TPS62
98	TPS63
99	TPS64
100	TPS65
101	TPS66
102	TPS67
103	TPS68
104	TPS69
105	TPS70
106	TPS71
107	TPS72
108	TPS73
109	TPS74
110	TPS75
111	TPS76
112	TPS77
113	TPS78
114	TPS79
115	TPS80
116	TPS81
117	TPS82
118	TPS83
119	TPS84
120	TPS85
121	TPS86
122	TPS87
123	TPS88
124	TPS89
125	TPS90
126	TPS91
127	TPS92
128	TPS93
129	TPS94
130	TPS95
131	TPS96
132	TPS97
133	TPS98
134	TPS99
135	TPS100
136	TPS101
137	TPS102
138	TPS103
139	TPS104
140	TPS105
141	TPS106
142	TPS107
143	TPS108
144	TPS109
145	TPS110
146	TPS111
147	TPS112
148	TPS113
149	TPS114
150	TPS115
151	TPS116
152	TPS117
153	TPS118
154	TPS119
155	TPS120
156	TPS121
157	TPS122
158	TPS123
159	TPS124
160	TPS125
161	TPS126
162	TPS127
163	TPS128
164	TPS129
165	TPS130
166	TPS131
167	TPS132
168	TPS133
169	TPS134
170	TPS135
171	TPS136
172	TPS137
173	TPS138
174	TPS139
175	TPS140
176	TPS141
177	TPS142
178	TPS143
179	TPS144
180	TPS145
181	TPS146
182	TPS147
183	TPS148
184	TPS149
185	TPS150
186	TPS151
187	TPS152
188	TPS153
189	TPS154
190	TPS155
191	TPS156
192	TPS157
193	TPS158
194	TPS159
195	TPS160
196	TPS161
197	TPS162
198	TPS163
199	TPS164
200	TPS165
201	TPS166
202	TPS167
203	TPS168
204	TPS169
205	TPS170
206	TPS171
207	TPS172
208	TPS173
209	TPS174
210	TPS175
211	TPS176
212	TPS177
213	TPS178
214	TPS179
215	TPS180
216	TPS181
217	TPS182
218	TPS183
219	TPS184
220	TPS185
221	TPS186
222	TPS187
223	TPS188
224	TPS189
225	TPS190
226	TPS191
227	TPS192
228	TPS193
229	TPS194
230	TPS195
231	TPS196
232	TPS197
233	TPS198
234	TPS199
235	TPS200
236	TPS201
237	TPS202
238	TPS203
239	TPS204
240	TPS205
241	TPS206
242	TPS207
243	TPS208
244	TPS209
245	TPS210
246	TPS211
247	TPS212
248	TPS213
249	TPS214
250	TPS215
251	TPS216
252	TPS217
253	TPS218
254	TPS219
255	TPS220
256	TPS221
257	TPS222
258	TPS223
259	TPS224
260	TPS225
261	TPS226
262	TPS227
263	TPS228
264	TPS229
265	TPS230
266	TPS231
267	TPS232
268	TPS233
269	TPS234
270	TPS235
271	TPS236
272	TPS237
273	TPS238
274	TPS239
275	TPS240
276	TPS241
277	TPS242
278	TPS243
279	TPS244
280	TPS245
281	TPS246
282	TPS247
283	TPS248
284	TPS249
285	TPS250
286	TPS251
287	TPS252
288	TPS253
289	TPS254
290	TPS255
291	TPS256
292	TPS257
293	TPS258
294	TPS259
295	TPS260
296	TPS261
297	TPS262
298	TPS263
299	TPS264
300	TPS265
301	TPS266
302	TPS267
303	TPS268
304	TPS269
305	TPS270
306	TPS271
307	TPS272
308	TPS273
309	TPS274
310	TPS275
311	TPS276
312	TPS277
313	TPS278
314	TPS279
315	TPS280
316	TPS281
317	TPS282
318	TPS283
319	TPS284
320	TPS285
321	TPS286
322	TPS287
323	TPS288
324	TPS289
325	TPS290
326	TPS291
327	TPS292
328	TPS293
329	TPS294
330	TPS295
331	TPS296
332	TPS297
333	TPS298
334	TPS299
335	TPS300
336	TPS301
337	TPS302
338	TPS303
339	TPS304
340	TPS305
341	TPS306
342	TPS307
343	TPS308
344	TPS309
345	TPS310
346	TPS311
347	TPS312
348	TPS313
349	TPS314
350	TPS315
351	TPS316
352	TPS317
353	TPS318
354	TPS319
355	TPS320
356	TPS321
357	TPS322
358	TPS323
359	TPS324
360	TPS325
361	TPS326
362	TPS327
363	TPS328
364	TPS329
365	TPS330
366	TPS331
367	TPS332
368	TPS333
369	TPS334
370	TPS335
371	TPS336
372	TPS337
373	TPS338
374	TPS339
375	TPS340
376	TPS341
377	TPS342
378	TPS343
379	TPS344
380	TPS345
381	TPS346
382	TPS347
383	TPS348
384	TPS349
385	TPS350
386	TPS351
387	TPS352
388	TPS353
389	TPS354
390	TPS355
391	TPS356
392	TPS357
393	TPS358
394	TPS359
395	TPS360
396	TPS361
397	TPS362
398	TPS363
399	TPS364
400	TPS365
401	TPS366
402	TPS367
403	TPS368
404	TPS369
405	TPS370
406	TPS371
407	TPS372
408	TPS373
409	TPS374
410	TPS375
411	TPS376
412	TPS377
413	TPS378
414	TPS379
415	TPS380
416	TPS381
417	TPS382
418	TPS383
419	TPS384
420	TPS385
421	TPS386
422	TPS387
423	TPS388
424	TPS389
425	TPS390
426	TPS391
427	TPS392
428	TPS393
429	TPS394
430	TPS395
431	TPS396
432	TPS397
433	TPS398
434	TPS399
435	TPS400
436	TPS401
437	TPS402
438	TPS403
439	TPS404
440	TPS405
441	TPS406
442	TPS407
443	TPS408
444	TPS409
445	TPS410
446	TPS411
447	TPS412
448	TPS413
449	TPS414
450	TPS415
451	TPS416
452	TPS417
453	TPS418
454	TPS419
455	TPS420
456	TPS421
457	TPS422
458	TPS423
459	TPS424
460	TPS425
461	TPS426
462	TPS427
463	TPS428
464	TPS429
465	TPS430
466	TPS431
467	TPS432
468	TPS433
469	TPS434
470	TPS435
471	TPS436
472	TPS437
473	TPS438
474	TPS439
475	TPS440
476	TPS441
477	TPS442
478	TPS443
479	TPS444
480	TPS445
481	TPS446
482	TPS447
483	TPS448
484	TPS449
485	TPS450
486	TPS451
487	TPS452
488	TPS453
489	TPS454
490	TPS455
491	TPS456
492	TPS457
493	TPS458
494	TPS459
495	TPS460
496	TPS461
497	TPS462
498	TPS463
499	TPS464
500	TPS465
501	TPS466
502	TPS467
503	TPS468
504	TPS469
505	TPS470
506	TPS471
507	TPS472
508	TPS473
509	TPS474
510	TPS475
511	TPS476
512	TPS477
513	TPS478



## AZZ356 切断周速目安 プーリー比 $\phi 75 / \phi 120$

エンジン回転数 rpm	ブレード軸回転数 rpm	ブレード周速 m/min						
		1 2"	1 4"	1 8"	2 2"	2 6"	3 0"	3 4"
2200 rpm	1375	1316	1535	1974	2413	2851	3290	3729
2400	1500	1436	1675	2153	2632	3110	3589	4068
2600	1625	1555	1814	2333	2851	3370	3888	4407
2800	1750	1675	1954	2512	3071	3629	4187	4745
3000	1875	1795	2094	2692	3290	3888	4486	5084
3200	2000	1914	2233	2871	3509	4147	4785	5423
3400	2125	2034	2373	3051	3729	4407	5084	5762
3600	2250	2153	2512	3230	3948	4666	5384	6101

(m/min)

\* ブレードメーカー推奨周速



コンクリート推奨周速 (1900 ~ 2400 m/min)



アスファルト推奨周速 (2500 ~ 3000 m/min)



## AZZ406 切断周速目安 Loレンジ プーリー比 $\phi 78 / \phi 115$

エンジン回転数 rpm	ブレード回転数 rpm	ブレード周速 m/min							
		1 2"	1 4"	1 8"	2 2"	2 6"	3 0"	3 4"	3 8"
2200 rpm	746	714	833	1071	1309	1547	1785	<b>2023</b>	<b>2261</b>
2400	814	779	909	1168	1428	1688	<b>1947</b>	<b>2207</b>	<b>2467</b>
2600	882	844	985	1266	1547	1828	<b>2110</b>	<b>2391</b>	<b>2672</b>
2800	950	909	1060	1363	1666	<b>1969</b>	<b>2272</b>	<b>2575</b>	<b>2878</b>
3000	1017	974	1136	1461	1785	<b>2110</b>	<b>2434</b>	<b>2759</b>	3083
3200	1085	1039	1212	1558	<b>1904</b>	<b>2250</b>	<b>2597</b>	<b>2943</b>	3289
3400	1153	1104	1287	1655	<b>2023</b>	<b>2391</b>	<b>2759</b>	3127	3495
3600	1221	1168	1363	1753	<b>2142</b>	<b>2532</b>	<b>2921</b>	3311	3700

(m/min)

## AZZ406 切断周速目安 Hiレンジ プーリー比 $\phi 78 / \phi 115$

エンジン回転数 rpm	ブレード回転数 rpm	ブレード周速 m/min							
		1 2"	1 4"	1 8"	2 2"	2 6"	3 0"	3 4"	3 8"
2200 rpm	1395	1335	1557	<b>2002</b>	<b>2447</b>	<b>2892</b>	3337	3782	4227
2400	1521	1456	1699	<b>2184</b>	<b>2669</b>	3155	3640	4125	4611
2600	1648	1577	1840	<b>2366</b>	<b>2892</b>	3418	3943	4469	4995
2800	1775	1699	<b>1982</b>	<b>2548</b>	3114	3681	4247	4813	5379
3000	1902	1820	<b>2123</b>	<b>2730</b>	3337	3943	4550	5157	5763
3200	2028	<b>1941</b>	<b>2265</b>	<b>2912</b>	3559	4206	4853	5501	6148
3400	2155	<b>2063</b>	<b>2406</b>	3094	3782	4469	5157	5844	6532
3600	2282	<b>2184</b>	<b>2548</b>	3276	4004	4732	5460	6188	6916

(m/min)

\* ブレードメーカー推奨周速

コングリート推奨周速 (1900 ~ 2400 m/min)

アスファルト推奨周速 (2500 ~ 3000 m/min)

## AZZ II 506 切断周速目安 Loレンジ プーリー比 $\phi 78 / \phi 115$

エンジン回転数 rpm	ブレード回転数 rpm	ブレード周速 m/min										
		1 2"	1 4"	1 8"	2 2"	2 6"	3 0"	3 4"	3 8"	4 2"	4 6"	
2200 rpm	746	714	833	1071	1309	1547	1785	<b>2023</b>	<b>2261</b>	<b>2499</b>	<b>2737</b>	
2400	814	779	909	1168	1428	1688	<b>1947</b>	<b>2207</b>	<b>2467</b>	<b>2726</b>	<b>2986</b>	
2600	882	844	985	1266	1547	1828	<b>2110</b>	<b>2391</b>	<b>2672</b>	<b>2954</b>	3235	
2800	950	909	1060	1363	1666	<b>1969</b>	<b>2272</b>	<b>2575</b>	<b>2878</b>	3181	3484	
3000	1017	974	1136	1461	1785	<b>2110</b>	<b>2434</b>	<b>2759</b>	3083	3408	3733	
3200	1085	1039	1212	1558	<b>1904</b>	<b>2250</b>	<b>2597</b>	<b>2943</b>	3289	3635	3981	
3400	1153	1104	1287	1655	<b>2023</b>	<b>2391</b>	<b>2759</b>	3127	3495	3862	4230	
3600	1221	1168	1363	1753	<b>2142</b>	<b>2532</b>	<b>2921</b>	3311	3700	4090	4479	

(m/min)

## AZZ II 506 切断周速目安 Hiレンジ プーリー比 $\phi 78 / \phi 115$

エンジン回転数 rpm	ブレード回転数 rpm	ブレード周速 m/min										
		1 2"	1 4"	1 8"	2 2"	2 6"	3 0"	3 4"	3 8"	4 2"	4 6"	
2200 rpm	1395	1335	1557	<b>2002</b>	<b>2447</b>	<b>2892</b>	3337	3782	4227	4671	5116	
2400	1521	1456	1699	<b>2184</b>	<b>2669</b>	3155	3640	4125	4611	5096	5581	
2600	1648	1577	1840	<b>2366</b>	<b>2892</b>	3418	3943	4469	4995	5521	6047	
2800	1775	1699	<b>1982</b>	<b>2548</b>	3114	3681	4247	4813	5379	5945	6512	
3000	1902	1820	<b>2123</b>	<b>2730</b>	3337	3943	4550	5157	5763	6370	6977	
3200	2028	<b>1941</b>	<b>2265</b>	<b>2912</b>	3559	4206	4853	5501	6148	6795	7442	
3400	2155	<b>2063</b>	<b>2406</b>	3094	3782	4469	5157	5844	6532	7219	7907	
3600	2282	<b>2184</b>	<b>2548</b>	3276	4004	4732	5460	6188	6916	7644	8372	

(m/min)

\* ブレードメーカー推奨周速

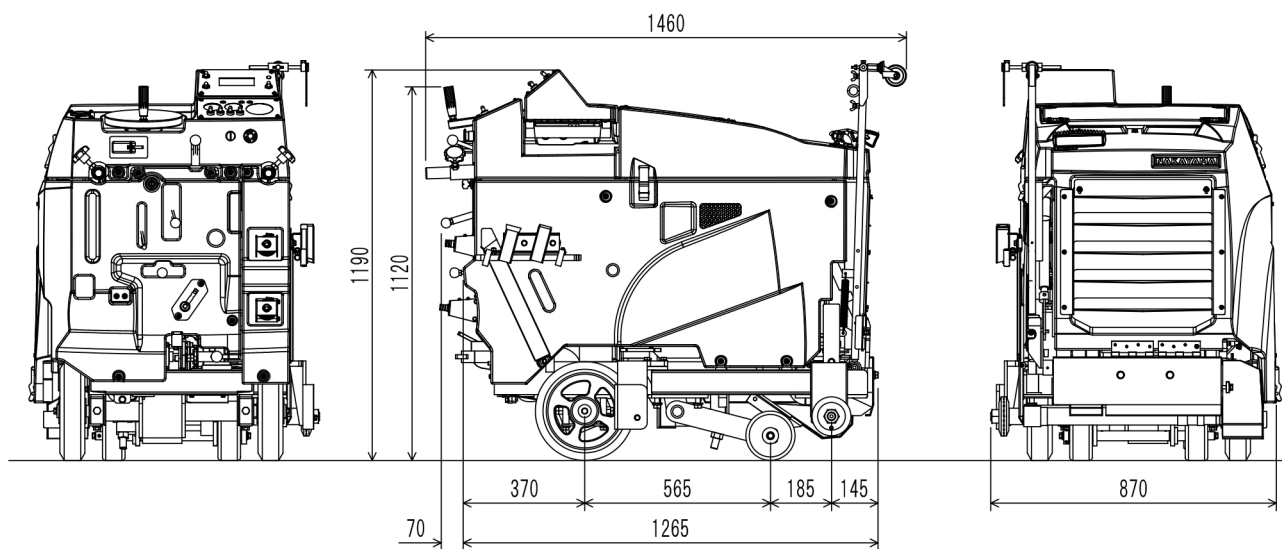
 コンクリート推奨周速 (1900 ~ 2400 m/min)

 アスファルト推奨周速 (2500 ~ 3000 m/min)



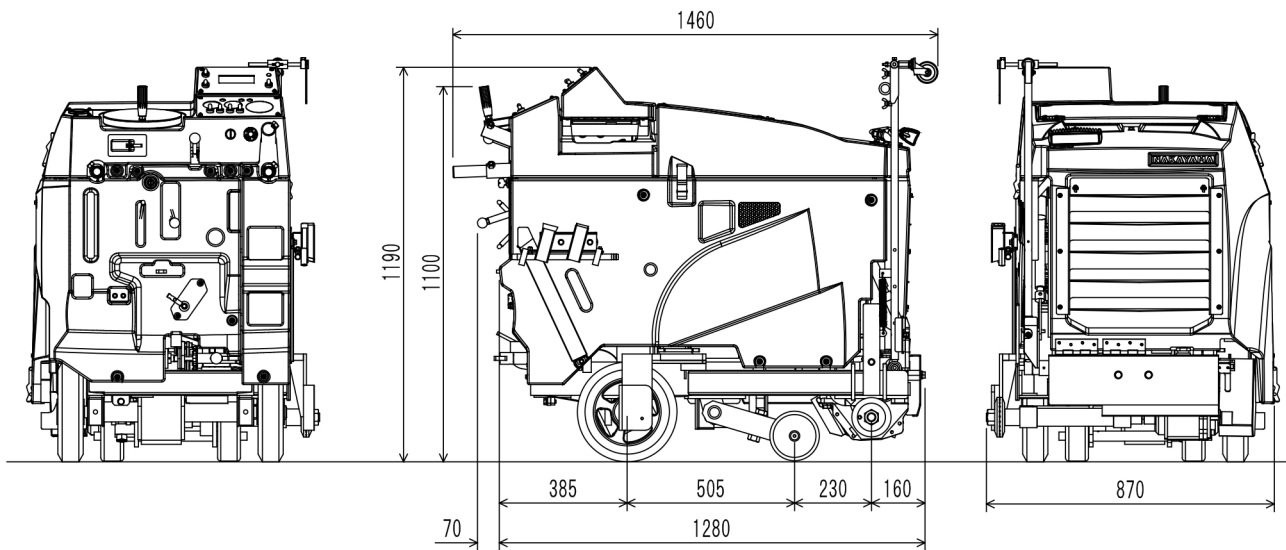
## AZZ 356 仕様書

型式	AZZ 356
エンジン	Kubota WG1605 1537cc 水冷直列4気筒 電子制御燃料噴射方式
最大出力	42.5KW (57PS) / 3600min <sup>-1</sup>
連続定格出力	30.2KW (41.5PS) / 2400min <sup>-1</sup>
本体サイズ	1460L × 870W × 1190H (mm)
重量	635kg
最大切断深さ	350mm
深さ調節	油圧昇降式
走行	HSTレバー調整
	前進：切断0～1km/h 廻送：0～4km/h 後進：切断0～0.5km/h 廻送：0～1.5km/h
バキュームユニット	吸気量：2.0m <sup>3</sup> /min 排水ポンプ排出量：9L/min
燃料タンク	14.2ℓ
ブレードカバー	12", 14", 18", 22", 26", 30", 34"



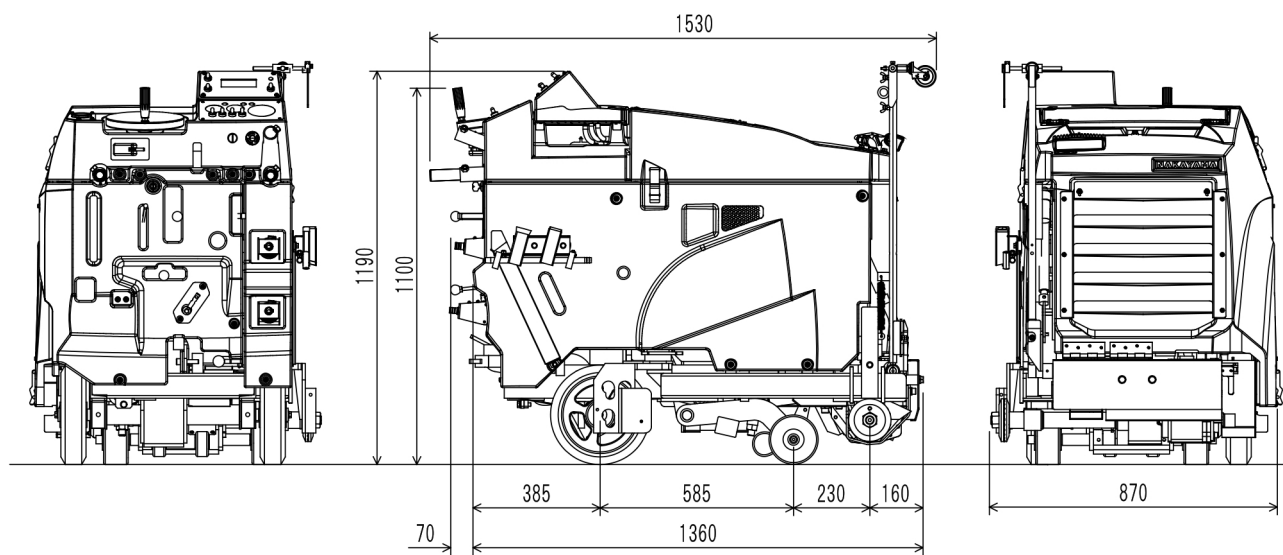
## AZZ 406 仕様書

型式	AZZ 406
エンジン	Kubota WG1605 1537cc 水冷直列4気筒 電子制御燃料噴射方式
最大出力	42.5KW (57PS) / 3600min <sup>-1</sup>
連続定格出力	30.2KW (41.5PS) / 2400min <sup>-1</sup>
本体サイズ	1460L × 870W × 1190H (mm)
重量	671kg
最大切断深さ	400mm
深さ調節	油圧昇降式
走行	HSTレバー調整
	前進：切断0～1km/h 廻送：0～4km/h 後進：切断0～0.5km/h 廻送：0～1.5km/h
バキュームユニット	吸気量：2.0m <sup>3</sup> /min 排水ポンプ排出量：9L/min
燃料タンク	14.2ℓ
ブレードカバー	12", 14", 18", 22", 26", 30", 34", 38"



## AZZ II 506 仕様書

型式	AZZ II 506
エンジン	Kubota WG1605 1537cc 水冷直列4気筒 電子制御燃料噴射方式
最大出力	42.5KW (57PS) / 3600min <sup>-1</sup>
連続定格出力	30.2KW (41.5PS) / 2400min <sup>-1</sup>
本体サイズ	1530L × 870W × 1190H (mm)
重量	705kg
最大切断深さ	500mm
深さ調節	油圧昇降式
走行	HSTレバー調整
	前進：切断0～1km/h 廻送：0～4km/h 後進：切断0～0.5km/h 廻送：0～1.5km/h
バキュームユニット	吸気量：2.0m <sup>3</sup> /min 排水ポンプ排出量：9L/min
燃料タンク	14.2ℓ
ブレードカバー	12", 14", 18", 22", 26", 30", 34", 38", 42", 46"





# 仲山鉄工株式会社

〒426-0055

静岡県藤枝市大西町3丁目14-1

TEL : 054(635)1383

FAX : 054(635)0418

URL : <http://www.nakayama-azz.co.jp>

E-mail : [info@nakayama-azz.co.jp](mailto:info@nakayama-azz.co.jp)

